

①  
以下は 2021 年春休みに韓国・誠信女子大学校オンライン留学に参加した  
学生による留学報告書です。①-⑨の 9 名分です。

## オンライン留学報告書

たった 2 週間。けれど 2 週間。このプログラムを通して多くの学びを得た。オンライン留学を決めた理由は主に 3 つある。1 つは、大学生だからこそその長期休みを充実させたいと考え、海外の新しい土地を知り、友人の輪を広げようと考えたから。新しい土地を知ると言っても、遊びの要素だけではなく学びの要素があったほうがより有意義な時間を過ごせるのではないかと考え、このプログラムを検討した。2 つは、実際に現地に行かずとも学術面、異文化交流面で学び得ることはあるのではないかと考えたから。オンライン形式のプログラムだとしても、違う国に住む人と繋がりを持つことに変わりはないのではないかと考えた。3 つは、今後海外の人とオンラインでやり取りする際の貴重な経験になると考えたから。プログラムに参加し、オンラインのやり取りの長所短所を体得することは、今後の就職活動、将来働き始めた時、いかなる環境でも役に立つことなのではないかと考え、最終的にオンライン留学を決断した。オンライン留学の良い点としては、心身への負担が少ないことが挙げられる。現地に渡韓し、他のプログラム参加者と四六時中共に行動するだけではないため、自宅で落ち着いて取り組めた。その一方、やはり現地に行けないためその土地ならではの文化や人々の「生」の雰囲気を感じることが得にくいことが挙げられる。同じ場所で時間を過ごすことで得られるものは、オンライン留学とはまた違う良さがある。ツール面から授業方法に関して説明すると、教材は事前に国際交流センターから添付されるため事前に単語調べや対策出来るが、PPT、追加のリーディング資料は画面共有での提示のみ。オンライン授業は Zoom の会議機能を使用し、時間になったら会議に参加するという形で実施された。講義は平日 13 時から 17 時までで、1 時間ごとに 10 分間の休憩時間がある。また、毎日異なるテーマで学んでいく。今回のプログラムでは、挨拶、日常生活、場所と位置、週末、買い物、天気、余暇活動、電話、旅行、予約する をテーマに学んだ。初日にはオリエンテーションがあるものの、現地担当者から日本語での補足説明があり安心。毎週水曜日に実施される現地学生との交流はブレイクアウトルームという会議機能を使用し、現地学生 1 名に対し 3 から 4 名で実施された。今回のプログラムはしっかり学問を勉強するプログラムであったため、参加している学生は授業中、積極的に発言しており、モチベーションの高さを感じた。授業方法としては、学生側に意見を求めディスカッションする時間と、教授がレクチャーをする時間の両方があった。特に、教授がディスカッションの時間を多く取ってくださったため、そこで現状行き詰っていることを質問することができた。オンライン留学だからこそ生まれる不安を取り除くことができ、特に問題なく修了できた。仙台白百合女子大学で行われている授業と比べると、プログラムでの課題は比較的多かったように感じた。プログラムでは 3 名の教授の授業を受講したが、教授によっては事後課題として韓国語作文の提出に加え、授業での積極的な姿勢、発表など複数の項目で評価されるため、必然的に勉強量、時間もそれなりに要した。オンライン留学で得たものは 3 つある。1 つは、海外でのネットワークを広げることができたこと。プログラムの中には韓国語総合活動という異文化交流を目的とする時間が設けられている。このプログラムは教授の割り振ったミーティングリンクを押すまで誰と話すか分からないイベントであったが、現地から参加している学生と知り合うことが

でき、自分の海外でのネットワークが広がったように思う。2つ目は、学術的な知見だ。これまで韓国語の文法やコミュニケーションの授業は仙台白百合女子大学でも何度か履修したが、違う国の教授から学ぶことで新たな視点を獲得できた。韓国語の発音や、ビジネスでの異文化理解能力の大切さなどに関して、知見を深めることができたのは貴重な経験だった。3つ目は、オンラインでプロジェクトを進めるスキルを得ることができた。オンライン留学では、直接会っていたらその場の雰囲気分かるちょっとしたニュアンスが伝わりづらいからこそ、自分の意見をはっきり言うことが求められる。コミュニケーションをしっかりとることで、物理的に同じ空間にいなくとも他の参加者との繋がりを構築することができる。その状況下で各自がどんなタスクをこなすのか積極的に確認し合うというのは、オンラインでの留学だからこそより必要とされるスキルだが、今後の大学での勉強、就職活動、社会人としても使える汎用的なスキルだろう。今後プログラムへの参加を希望する学生へのアドバイスとしては、私自身、オンライン留学はこのプログラムが初めてだったものの、プログラム運営者側がより参加者に新たな知見の獲得、異文化交流を通し留学の醍醐味を味わってもらえるよう、誠信女子大学校は入念なプログラム設計がされている印象を受けたうえ、一つのトピックを議論するにも複数の視点を聞きながら勉強することができる。今後留学がオンライン、オフラインのいずれで開催されるにしろ、長期休み中にインテンシブに勉強したい人、多様な価値観が存在する環境に身を置いてみたい人、海外でのネットワークを広げたい人、仙台白百合女子大学とは違った視点で学問を学びたい人にはおすすめのプログラムといえる。

## オンライン留学報告書

私は、春休みに誠信女子大学のオンライン留学に参加しました。期間は約2週間、毎日4時間の授業を zoom を利用し行いました。今回のプログラムは、大学でも初の試みだったので最初は、授業の進め方や内容について不安がありました。しかし、全授業を終えて振り返ってみると学んだことが多くあり、文化もよく理解することができました。

授業は3人の先生によって行われ、発音・コミュニケーション・文法をそれぞれ重点的に学習しました。私は、この中でも特に発音学習に苦労しました。大学の授業より深く、ひとりひとり丁寧に発音を確認する内容だったので、今までよりも口の形や息の出し方を意識して参加しました。少人数のクラスだったこともあり、全員が理解して身につくまで先生が丁寧に、熱心なご指導をしてくださいました。

コミュニケーションや文法の授業では、一度習ったものを韓国語で復習する形の授業でした。例文を通して、新しい単語を覚えたり自分で短い作文を作ったりと、インプットとアウトプットがすぐにできる内容でとても満足しました。授業中にわからない単語に出会っても、先生が質問の時間を設けてくださったり、生徒の理解度に合わせて進み具合を調節してくださいました。この授業の先生はユーモアのある先生で、現地での最近のお話や、以前日本に訪れた時のことをよく話してください、飽きずに学習でき、また文化も学ぶ機会にもなりました。

毎週水曜日の、現地大学生との交流会では韓国の文化や流行に触れながらコミュニケーション能力を上げる有意義な時間を過ごすことができました。この時間には、日本人3人と現地学生1人のグループの中で、韓国の文化について話し合いました。流行についてやドラマ、映画など多種多様な話題を話し、その中で自分のコミュニケーション面での語学力の足りない部分にも気づくことができました。また現地学生の方々はみなさん優しく、お互いの文化について紹介したり、わからないものはそれぞれ調べながら理解して話すことができました。

今回のプログラムに向けて、今までの授業内容復習に加え、単語を重点的に学習することを意識しました。そして、授業を受けながら単語量の大切さや細かな文法の違いを正しく理解する丁寧な学習の重要性をとて感じました。最初は話すことに緊張と抵抗がありましたが、授業での気づきをその日のうちに復習することで、自信につながり話すことを楽しむことができました。

全授業を終えて、発音やコミュニケーションなど現地の先生と授業するからこそその細やかな学習や、現地学生との交流で見えてくる現在の韓国文化に触れることができ、とてもよかったです。

## オンライン留学報告書

---

### ・受講して学んだこと、よかったこと

授業はすべて韓国語で行われたことで、自力でなんとかしてでも韓国語を使わなければならない状況の中、常に頭の中で考え、自分の知っている単語や文法を活用し、会話をすることができてよかったと感じます。普段受講している韓国語の授業内で使う言語は、ほとんどが日本語です。文法や単語を重点的に学んでいることから、発音に関しては問題点がたくさんあったようです。発音の方法を丁寧に教わり、できていなかった発音が最終的に改善され、先生からお褒めのお言葉をいただきました。授業内容は初級者向けの内容で、今まで習った復習が多かったのですが、そのため基礎段階で欠けている部分を見つけ、改善することができました。最初の授業の終了後、皆さんがミーティングルームから退室した後に、先生と個人的にお話したことから、応用的な内容も少し含めながら教えていただきました。曜日ごとの先生と個人的に話したことも多く、自分の力試しをすることができ、とても貴重な体験をしました。

---

### ・気づき

上記で記した通り、「自分ではできていると思っていたことが実はできていなかった」ということに気づくことが出来ました。自分が思っていた発音方法と違ったり、なかなか会話の途中で韓国語が出てこなかったりなど、日本語が通じない方々が相手だったからこそ、自分で解決、もしくは参加していた皆さんと助け合いながら、成り立った授業だと思いました。

授業をとおして、焦りも感じました。私は高校生の時に、独学で韓国語の勉強を始め、現在も大学で韓国語を勉強しています。受講生の中には、1年生もおり、その1年生の方々の韓国語が上手で驚きました。語学は周りと自分を比較するものではありませんが、今までの自分の勉強量、期間とその成果など、少し頭の中で比較してしまい、もっと頑張らなければならないと感じました。

---

### ・実際に受けた授業の様子や課題への取り組み

授業はすべて韓国語で行われ、事前に配布された授業時に使用する教科書の PDF や、先生方が事前に準備して下さったパワーポイントなど、それらを使い、リーディング、リスニング、ライティング、スピーキングなどを行いました。面白く楽しい先生方だったため、楽しく授業に参加することが出来ました。授業内でも使用した SNS を利用して、先生に作文の添削をしていただきました。授業のほかに、フリートークのような時間もありました。

---

### ・現地学生との交流

2週間、水曜日に現地の学生と交流する機会が2回ありました。各メンバーに分かれ、ZOOMのブレイクアウトルームにてお話をしました。現地の学生は、ほとんどが先輩でした。先輩方は事前に調べておいた韓国の美容文化や食文化などを、パワーポイントにまとめて発表していただきました。

先輩 1 人に対し、仙台白百合女子大学の学生が3人程度でお話しました。私はある先輩と親しくなり、今も SNS を使って会話をしています。その先輩は日本語を勉強し始めたばかりで、日本語に対する疑問がある際は、私が説明し解決しています。新型コロナウイルスがなければ、実際に留学として現地に行き、先輩や先生方との直接的な関わりを持てたと思うと、惜しい気持ちでいっぱいです。ですが、オンライン留学という機会を通して、関係を持てたことに感謝しています。

---

・今後の抱負

昨年、各韓国語の資格試験に無事合格し、今年受ける予定の試験勉強は既に始めています。今回のオンライン留学で得た知識を活かし、来年度もランゲージ・カフェを利用しつつ、普段の韓国語の授業でも積極的に頑張っていきたいと思います。これからの自分に期待です。

---

## オンライン留学報告書

今回オンライン留学をするにあたって少し不安がありました。現地の韓国に行けず、画面上での授業や先生、現地の学生とのコミュニケーションは私にとって難しく感じました。

また、日本語を通訳してくれる方はいないので上手くコミュニケーションがとれずもどかしく感じることもありました。

授業内容は基本単語、基本文法から応用もありました。1年生、2年生の2年間韓国語の授業を受けた私は分からない単語はありましたが授業内容や韓国人の先生がおっしゃっていることを理解して、質問等には答えることが出来ました。ですが、先生のおっしゃっていることや単語が分からない時もありました。その時は先生もおっしゃっていましたが素直に分からないのもう少しゆっくり喋ってください、教えてくださいと言う事が大切であると感じました。先生も優しい方達だったのですぐに丁寧に教えていただきました。

先程も書いたように基本単語や基本文法が授業のほとんどのため韓国語の授業を受けて基礎が出来ている方は受けなくても良いと感じた部分が多かったです。それでも基礎の復習がしたい、韓国人の先生、学生とコミュニケーションをとってみたい友達になりたいという方はオンライン留学というものに挑戦してみるのも良いと思いました。

韓国の現地の学生とのコミュニケーションですが、食べ物、ファッションなどたくさん教えてくれました。話題としては韓国の芸能人、歌が話題が尽きずに話せました。また、日本の文化、アニメーションが好きな方もいたので楽しくお話しできました。私達日本人が韓国に対して興味のあることと、韓国の学生が日本について興味のあることが違う部分もありそれも面白いと感じました。

2週間韓国語を勉強し、最後にまとめのテストがあります。筆記テストと韓国人の先生との会話テストがあります。会話テストと言っても先生と韓国語でただ話し、コミュニケーションをとることでした。私は先生との会話は分からない単語が多く、上手くコミュニケーションが取れないと自分で感じました。

この2週間韓国語を勉強して成長したというよりは復習した感覚の方が多く印象に残りました。会話に対してどう勉強していいのか迷っていましたが先生が教えてくださったように韓国ドラマや歌を聴いて、発音や言い回し等を理解していくことが楽しく勉強する方法の一つだと思いました。オンライン留学をする前は不安が沢山ありましたが安心して授業を受けられました。何か大きくオンライン留学で変わったということは個人的にはないですが韓国語勉強の今後の目標は見つけられたとオンライン留学を経て思いました。

## オンライン留学報告書

オンライン留学を終えて、韓国語の勉強への変化や興味もさらに高まったと感じた。

たとえば、先生のネイティブな韓国語での質問を聞き取り、私なりにこれまで習った韓国語で受け答えをしていくスタイルが毎日必ず行われた。大学での韓国語の先生と話すとは全く違う感覚があった。適切な発音をしないと単語は合っているが全く伝わらず、私たちはおそらく理解しているのに、先生だけが理解していない場面が何度かあり、発音の大切さをとても感じた。その度に、先生たちは何度も発音を教えてくれ、私たち一人ひとりの弱点を改善できるよう努めてくれた。普段、このように私たちは単語や文法は完璧であっても発音を重点的にやっていなかったのだと思った。私は、勉強方法を「書く」に重点を置くのではなく、「読む」にも力を入れることに変えなければいけないと気づかされ、とても良い勉強法を見つけることができた。私自身の成長は、2週間という短い期間で先生に見せることができたかわからないが、私は特に発音を毎日毎日繰り返し教わったことにより初日にはたくさん「違う」と言われたが、1週間経つと「そう、とても上手」と言われることも増え、この短い期間で成長できているのだと思えた。

私は、このオンライン留学を受講する前に韓国語に少しでも慣れた状態にしようと思い、好きな韓国ドラマや映画、バラエティーなどを日本語字幕付きで見て予習した。現地の学生の方と話せる機会を設けて頂いたときは、主に韓国で今流行っている服や、アイドル、俳優を教えて頂いたときに、予習したことが役に立った。現地の学生に、「今まで見たことあるドラマや映画を教えてください」と質問された際に、予習しておいた作品をすんなりいうことが出来たので、多くの会話を交わすことが出来た。しかし、日本で有名な俳優やアイドルを知りたいと言われたときは、簡単に名前を言えば伝わるが、アニメや映画のタイトルを言う時はそのままでは伝わらない時があり、少し戸惑ってしまった。

私は、2週間という短い期間で本当に自分に学べることもあるのだろうかと不安でいたが、「やらない」より、「やる」を選んでよかったと感じている。将来、韓国語を使う仕事に就きたいと考えているので、今後も韓国語を沢山学習していき、去年、今年と留学ができない状況にあるためいつか韓国留学を必ずしたいと思っている。今回のオンライン留学をとても有意義に過ごせて、良い春休みを送れたと感じている。

## オンライン留学報告書

私は韓国へ行き、現地の大学で留学予定だったが、コロナの影響でオンラインを通して 2 週間誠信女子大学の授業を学んだ。オンライン留学を通して長所や短所もあったが新鮮で楽しく学べた。

オンライン留学をするにあたって、耳を慣れさせるため受講する前に、韓国語を聞き、単語や文章など一通り復習した。現地で受講の経験がなかったため、不安でいっぱいだったが、誠信女子大学の先生達が、私達が聞き取りしやすいようにゆっくり話をしてくれたため、とても聞き取りやすかった。また、オンライン越しのため、ネットの接続がとても重要だと感じた。事前に接続環境が整っている場所ですること、先生達の発音がより聞き取りやすかった。先生達や現地の学生と文化や考え方が日本とは全く異なっていた。聞いていてとても面白く、新しい考えや発見があり、聞いていてとても新鮮だった。今まで学校での授業は、聞いて書く事がメインだったが、実際授業を受けて、発音に関してあまり深く学んでこなかったため、発音にとっても苦戦した。話す授業より書く授業をしてきたため、画面越しで現地の先生に口の形や発音を正確に教えてもらったが、私にはまだまだ発音や韓国語を話す練習が必要だと感じた。日本の学生は話すよりも書くことが得意な学生が多く、フランスやベトナムの学生は書くよりも話すことが得意な学生が多いと現地の先生が話していた。それを聞き、私は両方の長所を取り入れながら今後勉強していきたいと思った。実際に授業を受けて、自分の考えを問い出されたときに上手く自分の考えを言うことができなかった。私は今まで書くことしかしてこなかったため、実生活の中でも失敗を恐れ、自己表現の仕方が上手くできなかった。今回の授業を通し、自分を過小評価せず、より言語や文章の表現力を頑張る身につけていきたい。

今回のオンライン留学を通して、自分が不足している部分や足りない部分の学習を普段の勉強に取り入れる必要性を改めて感じた。私は今回のオンライン留学で現地の先生や学生と話し、韓国だけではなくいろんな国に興味を湧かした。将来、国際的な仕事がしたいと思っていたが、今回を機にその気持ちが強くなった。私はもっと世界の文化や歴史を学んで、言語力を磨き、自分がしたい仕事を見つけていきたい。

## オンライン留学報告書:誠信女子大学でのオンライン留学を振り返って

誠信女子大学でのオンライン留学は、非常に良い経験であり、自分の韓国語の能力を確かめられる大きな機会となった。コロナ禍という留学が厳しい中で受けたオンラインでの勉強は不安もあったが、13時から16時50分まで実際に韓国の先生からみっちり韓国語を学ぶことで韓国語に慣れることができた。2週間のオンライン留学であったが、複数の韓国人の先生から学ぶ為、リスニング力も大変鍛えられた。また、水曜日に行われた誠信女子大学の生徒との交流もあり、実際に韓国人と会話することでオンラインを受ける前よりも韓国語力を身につけられたと思う。

2週間の授業の中で感じることは沢山あった。まず、授業では私自身、韓国語を大学でも学んでいたが、簡単な文法から徐々に学んでいくため、最初から難し過ぎるということはなく学びやすいと感じた。だが、全部韓国語で教えられるため、自分のリスニング力やスピーキング力がまだまだ未熟だと痛感した。また、発音の仕方を一から教えてもらったことで、自分の出来ない発音が明らかになり、これから気をつけていくべき発音の点も理解できた。1週間の間に含まれていた現地の生徒との会話もまた良い経験になった。実際に韓国人と韓国語で日常会話するのは初めてで、中々話せなかったのが凄くもどかしく感じた。自分では出来る方だと思っていた韓国語でも、実際に話すとなると実力はまだまだであり、自分の出来なさを痛感した。だが、言葉が思うように出なくて積極的に話せない私に「ゆっくりで大丈夫だよ」と言ってくれた韓国学生の一言は実際に話すことに不安があった私にとってとても安心できた。その中で、授業と会話では人によっては訛りや癖などがある話し方だったりするため、きちんと聴き取る為にはもっと良く理解し、勉強しなければならぬと感じた。

今回オンライン留学をしてみて、自分にとって大きな経験と成長になったと感じた。実際に身を持って思ったことは「話す」ということは特に大事で、恥ずかしがらずに自信を持って話さなければ言語は上達しないと思った。私は留学に行きたいと考えていた為、事前に留学の雰囲気を経験できる良い機会になったと思う。その一方で、自分の韓国語の実力を知り、もっと今まで以上に勉強しなければならぬとも感じた。今振り返ってみても、私は受けて良かったと思う。受けなかったらきっと後悔していただろうし、授業を通して初めて学んだ事も沢山あった。今回学んだことは韓国語を学んでいる自分にとってプラスの出来事であり、良い成長の糧となった。これからも学んだことを活かして、もっと韓国語に取り組んでいきたい。

## オンライン留学報告書

2月15日から2月26日の10日間で行われた誠信女子大学のオンライン留学は新しい刺激をたくさん受け語学力はもちろん内面的にも成長することができたとても良いプログラムでした。特に受講して良かったところは日本では学ぶことができない実践的な韓国語を学ぶことができたところです。オンライン留学が始まって初日に大学で受けていた韓国語の授業との違いに驚きました。1年生ということもあり大学では先生から指名されてから答えるといった受け身の授業を受けていました。しかしオンライン留学では学年関係なく先生方は私たちに自由に発言するように問いを何度も投げかけてきました。オンライン留学をする前までは韓国語を使う機会が1度もなく、教科書の予習復習のみを行っていた為自分の韓国語の発音や文法に自信がありませんでした。そのため初日は自分から話すことを躊躇していました。さらに一緒に参加をしていた先輩方の韓国語のレベルの高さに驚き、勉強している年数の違いもありますが自分の無力さを思い知らされました。私は先輩のようにスラスラと韓国語を話し、先生とコミュニケーションを取れるようになりたいと毎日30個ずつ単語を覚え語彙力を増やす努力をしました。授業では先生が用意してくださった資料を使っていたので初めて聞く単語が多く混乱したまま授業が進んでしまうこともありましたが、しかし分からない単語はノートに書き、休み時間ごとに意味を調べてその日のうちに先生との会話の中で使い覚えるという努力もしました。韓国人の方の授業を受けることで今まで習った表現よりこの表現の方が現地の方は多く使うのだなといった気づきもあり実践的な韓国語を学ぶことができました。

また、10日間の中で1番意識した点は頭の中も韓国語でいっぱいにするということです。どうしても今の環境だと日常生活で韓国の方と話す機会がないので家族と話すときも自分の話したいことを韓国語で思い浮かべてから日本語を話していました。1番効果があったなと思ったのは独り言を韓国語で話すことです。これをするによって自然と頭の中が韓国語の文法と単語でいっぱいになり、無意識に文法の練習になります。

オンライン留学を受けてもちろん楽しいこともありました。1番は韓国の学生の方とお話できたことです。学生の方は今韓国で流行っているファッションやメイク、そして大学の文化について資料を用いながら説明をしてくださいました。授業中の先生の雑談とは違った若者目線の韓国について知ることができて楽しかったです。

今回のオンライン留学では、先生方、学生のみなさん、そして一緒に受講した先輩方から語学を上達させるためには積極的に発言して自分を表現すること、間違いを恐れずにまずは声に出してみるなど新たな刺激をたくさんいただきました。

この経験を自信に変えて今年は韓国能力試験2級合格を目指したいと思います。

## オンライン留学報告書

私がオンライン留学を通じて学んだことは、韓国語で会話することの大切さです。また、感じたことは最初から分からないと諦めるのではなく、自分がわかる単語を聞き取って、話の中身を理解しようと心がけることが必要だと感じました。オンライン留学では、日本語は通じませんでした。というのも先生方は日本語が話せないので、日本語が通じませんでした。ですが、その環境が私を成長させてくれたと思います。

まず、韓国語で会話するという点です。私は韓国ドラマを見るのが好きだったこともあって、リスニングは理解できるかは別として、できていましたが、スピーキングが全然できませんでした。質問の意味は分かって、答えたいこともあるのに単語を知らなくてうまく答えられなかったことのほうが最初は多かったです。ですが、最後のテストの時には自分の伝えたいことを、7割くらいは伝えることができました。最初のほうは3割くらいしか伝えることができなかったのが成長した点だと感じました。また、現地の学生さんと会話する機会が2回ありました。1回目は、全然答えられませんでした。「この中でどれがやってみたいですか？」と聞かれても、「これです。」としか答えられず、「どうして？」と聞かれても、うまく答えられることができませんでした。日本での授業は文法がメインだった1年だったので、会話の練習があまりできていませんでした。ですが、そこから1週間この留学で鍛えられたこともあって、2回目の会話の時間では自分の思っていることをしっかりと伝えましたし、ちゃんと会話が成立していました。この経験から、韓国語で会話するということの大切さを知りました。

次に、自分がわかる単語を聞き取って、話の中身を理解しようと心がけることです。今まで、韓国ドラマを見るときは字幕も出るし話が理解できていればいいかなと思いながら見ていました。ですが、オンライン留学が始まって、字幕のない文章を聴いて私は最初悩みました。このまま2週間何もわからなかったらどうしようと初日が終わって悩みました。その時に私は、文章で理解できなくても単語を聞き取れるようにしようと心がけました。すると、完全ではないですが大まかな内容を把握することができました。もちろんわからない単語もありましたが、それは勉強のやる気につながっていきました。それから私は、韓国ドラマを見るときは、単語を少しでも聞き取るようにしています。

私は、このオンライン留学を受けて本当に良かったと思っています。そして、また機会があれば参加したいと思いました。先生方は、優しい方が多くて、面白い話をしてくださる先生方もいらっしゃいました。授業もわかりやすく、自分のつまづいていた部分が理解でき、わかる単語で相手に伝えようとする力も身につきました。学生さんも皆さん優しく、質問を振ってくれたり、私の意図をくみ取って言いたいことを理解してくださったり、ゆっくり話してくれて、とても参加しやすかったです。もし、オンライン留学に興味がある方が近くにいたら、私はお勧めしたいです。